

第8回特別支援学校作業技能大会に参加して

高等部 3年1組 S・Y

昨年度に引き続き、喫茶接遇部門に参加しました。昨年度は爪を切り忘れてしまい、減点され、2級になりました。今年は練習時間が少なかったのですが、一生懸命練習し、検定に出ました。当日はとても緊張しましたが、練習の成果を発揮することができました。

結果は1級をとることができました。また実習先の吉川屋さんが見に来てくれたこともうれしかったです。これからは技能大会で身に付けたことを生かして、社会人になる準備をしていきたいと思います。

高等部 3年2組 H・M

初めて作業技能大会に参加し、ビルクリーニング部門の単種目テーブルクロスで2級をいただきました。練習は大変でしたが、毎日休まずにがんばりました。日に日にタイムが短くなって正確に机拭きができるようになって、自信もついてきました。休み時間には自分で持ってきたタオルで、自分の机を拭く練習をしました。最後まであきらめないで自分なりにがんばってよかったです。緊張もしたけれど、とても勉強になりました。応援してくれた家族、ご指導くださった先生方、ありがとうございました。

高等部 2年1組 O・Y

作業技能大会に参加することを決めてから、大会当日まで少ない時間の中、一生懸命練習しました。先生やグリーンパレスの方に教えていただいたことを生かして、大会に臨みました。僕は作業技能大会に参加するのは初めてで、とても緊張し、手や体が震え、ダメだと思いました。しかし、自分なりに頑張った結果が1級でした。本当にうれしくて、バスの中で結果を聞いたときは、友達と一緒に喜びました。接客を教えてくれたグリーンパレスの方、先生方に大変感謝しています。ありがとうございました。

高等部 2年1組 S・S

僕は、作業技能大会でPCデータ入力部門に出場しました。結果は43枚で一級、そして一位だったため、「ザ・モスト・コレクト・タイピング賞」を受賞しました。この成績を出せたのは、練習の成果が出たからだと思いました。練習していた時も40枚を超える記録を出していたので、緊張しましたが落ち着いて本番に臨むことができました。

作業技能大会で一級と「ザ・モスト・コレクト・タイピング賞」をとれたことが嬉しかったです。また、来年も出場したいと思います。



喫茶接遇部門



ビルクリーニング部門



PCデータ入力部門

今年度より、新しく2つの事業が始まりました

P T A 進路座談会

9月1日（火）に保護者同士の交流を深めるとともに、他学部の保護者の方々と進路に関する情報交換等を行う機会となるよう、P T A進路座談会を実施しました。高等部の現場実習のV T Rの視聴、キャリア支援部長や高等部保護者などを交えての座談会を通して、高等部での実習について知ったり、卒業後のイメージを持ったりすることができた等のお声をいただきました。以下に、保護者の方々からいただいたアンケート内容を記載します。

（小学部）

- ・先の事でなかなかイメージができなかったが、実際のV T Rを見ることで、高等部段階の子どもの姿や将来のイメージを持つことができた。
- ・生活介護での作業について、障がい重い子ども向けの話が聞きたい。

（中学部）

- ・校内、校外実習の実際の映像を見ることができ、いろいろと情報を得ることができた。
- ・作業所で作業している物を実際に見てみたい。

（高等部）

- ・就労に関して、漠然としていたものが少し理解できた。積極的に動くことの大切さを感じた。
- ・企業、事業所側がどのように生徒たちに対応しているかを聞いてみたい。
- ・定期的に施設、事業所、年金の話等、順番で聞いてみたい。



保護者事業所見学

9月28日（月）、10月1日（木）の2日間、P T Aとキャリア支援部連携事業である保護者事業所見学を実施しました。今年度は、郡山市にある「特定非営利活動法人 真・善・美（自立訓練（生活訓練）、就労継続支援B型）」の見学をしました。事業所の方に施設の案内や、実際に自立訓練の様子を見学させていただき、利用者の方々が社会自立を目指し、自分の力を伸ばすために様々な活動に取り組んでいる姿を見ることができました。昼食は、併設されている「ウェルフェア（福祉）カフェ」でいただきました。

卒業後、「学ぶこと」「働くこと」

小学部6年4組 担任 吉田 眞理子

自立訓練でパソコンを学ぶ様子を見学しました。1名は自分が1年半過ごした「真・善・美」での生活をパワーポイントにまとめて発表。もう1名は自分が描いたイラストをアニメーションに編集して発表しました。自信を持って生き生きと発表する姿が印象的でした。

高齢者向けの食事の配食事業を行っており、配膳や配達を行っていました。利用者さんがメッセージを考えて書き、お弁当に添えて届けるととても喜んで頂け、交流が生まれるとのこと。お揃いのビブスを着て張り切って配達に向かう姿は、働く喜びに溢れていました。

事業所を立ち上げた理事長さんとの座談会では、理事長さんの熱い思いと行動力に力を頂きました。（参加保護者より）利益を出さないと事業展開できない。障がい者であっても働ける、利益を生み出せる。それが共生社会に繋がる。というお話が印象的だった。理事長さんのプラス思考にパワーを頂いた。



理事長との座談会



自立訓練見学



昼食